

顕微鏡の正しい使い方

各部の名前



きょうとう鏡筒が動くタイプ

注意!

- 目をいためるので、日光が直接当たるところでは使わない。
- 運ぶときは両手で持つ。
- 使ったあと、水でぬれていたたり、よごれているところがあればやわらかい布でふいておく。



使い方

①



① 対物レンズをいちばん低い倍率にする。接眼レンズをのぞきながら、反射鏡を動かして明るくする。

②



② プレパラートをステージに置き、クリップでとめる。

③



③ 横から見ながら調節ねじを回して、対物レンズとプレパラートをできるだけ近づける。

④



④ 接眼レンズをのぞきながら、調節ねじを③と逆に回して、対物レンズとプレパラートの間をはなしていき、ピントを合わせる。

⑤



⑤ 見たい物が小さい時には、倍率の高い対物レンズに変える。



理科教育を支援する

公益社団法人 日本理科教育振興協会

TEL. 03-3294-0715 ホームページ <http://www.japse.or.jp>